



卒業式を迎えるにあたり・・・

職員玄関前の梅の花が咲き、春の訪れを感じる季節となりました。昨日は公立高校の合格発表がありました。3年生においては、第一志望校に合格した人もいれば、残念ながらそうではなかった人もいたことと思います。

(北棟1階昇降口には右の写真のような美術部制作の「合格だるま」が置かれ、3年生を応援していましたが・・・) 試験ですから、合否が出てしまうのは致し方ないことです。しかし、子どもたちの人生において高校入試の結果は全てではなく、ゴールでもありません。『人間万事塞翁が馬』です。果たして合格したことが本当に良いことなのか、不合格だったことが悪いことなのかは、今後の生き方によって決まってくるのではないのでしょうか。高校入学は長い人生の通過点です。「どこの高校で学ぶか」が大事なのではなく、「何をどのように学ぶか」が重要なのです。今回、残念な結果に終わってしまった人も気持ちを切り替えて頑張りたいと思います。

さて、あと7日で卒業式を迎えます。子どもたちにとって、保護者の皆様にとって素晴らしい門出の日となるよう、本校でも準備を進めております。卒業生は合唱以外は式全体を通じてマスクの着用を求めないことになっていきますので、入退場や呼名の際にお子様の表情をご覧いただければ幸いです。(マスク着用が当たり前になってしまった3年生にとってはマスクを外すことが難しいかもしれませんが・・・) 3年生の保護者の皆様には、先日プリントでもお知らせしたとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来校後のマスクの着用や検温、また、各家庭2名までの参加としたために、立ち見の可能性があるなど、ご不便をおかけすることになるかと思いますが、何卒、ご理解・ご協力いただければ幸いです。

学校評議員会・学校評価委員会が行われました

2月22日(水)に学校評議員会・学校評価委員会が行われ、学校評価アンケート等について4名の評議員とけやきの会本部役員の皆様から次のような貴重なご意見をいただきました。

- 挨拶をしてくれる生徒が多く、部活動などに熱心に取り組んでいて雰囲気がとても明るく感じた。
- 授業を見させていただくと、先生方と生徒との双方向のやり取りが多く、生徒に考えさせながら、授業を進めている様子がよくわかった。
- 先生方もチームワークが良く取れていて、仲が良いのではないかな。
- 今後も不登校生徒の対応については取りこぼすことのないように、丁寧に対応してほしい。
- LGBTQの問題においても服装等で当事者の生徒が嫌な思いをしないように配慮をお願いしたい。

来年度から本校も学校運営協議会制度を取り入れた「コミュニティ・スクール」となります。詳細については後日改めてご連絡いたしますが、今後も家庭や地域から“信頼される学校”を目指して、保護者や地域の方々のお力添えをいただきながら、学校運営に取り組んでいけたらと思います。

“職人技”に触れる ～1年職業講話・実演講習～

1年生では2/14(火)職業講話・実演講習を体育館で実施しました。内容としては、畳製作・建具・広告美術の職人の方々から仕事についてお話をいただいたり、実際に“職人技”を披露していただきました。これまで2年生で行ってきた職場体験学習もコロナ禍のために、この3年間は中止となっています。キャリア教育の重要性が叫ばれる中、このような機会を通して子どもたちが少し



でも将来の自分の職業について考えてもらえたらと願っています。参加した生徒の感想の一部を次のとおり、紹介いたします。

- ・近年、こうした職人の方々のすばらしい技術が継承できず、失われているのは、とても悲しいです。将来の私たちがこうした文化・技術を後世に伝えなければと強く感じました。
- ・特にこれまで気にしたことのないものに目を向けてみると、いろんな努力や技術からできていて、すごいなあと感じました。



日本の伝統的な楽器を演奏！～2年音楽の授業～

2月から2年生の音楽の授業では我が国の伝統的な楽器である「箏」の演奏を行っています。地域の方のご厚意で「箏」を13面もお貸しいただきました。なかなか触れる機会がないこともあり、子どもたちは真剣に取り組んでいました。今回の授業を通して、少しでも日本の伝統文化の良さを体感してもらえると嬉しいです。来年度、2年生が6月に修学旅行で行く「京都」の代表的なお土産である「ハツ橋」（「生ハツ橋」ではなく、堅焼きで細長い、ニッキが香る煎餅のハツ橋ですが・・・）は、実はある1人の歴史的偉人を偲んで作られています。それが「八橋検校（やつはしけんぎょう）」です。彼はそれまでの格式の高い箏の概念を解体し、誰でも弾くことができるように親しみやすい箏にしました。そんなことを知ると、「箏」が一層身近に感じるかもしれませんね。



修学旅行事前学習オリジナルサイトの作成・閲覧

2年生では来年度の修学旅行に向けて、2月から総合的な学習の時間等を使って事前学習をしています。生徒自身が京都で興味・関心のある場所をインターネット等を活用して調べ、まとめた内容をサイトに掲載し、2年生であれば、自由に閲覧できる「オリジナルガイドブック」を作成しました。これまで事前学習の成果物というと、模造紙や画用紙にまとめたものが主流でしたが、ICTを活用した今回の取り組みは新しい試みだと感じました。



3年生が書いた二つの作文から人権について学ぶ！

3年生の国語科（神奈川県中学校作文コンクール）と社会科（藤沢市人権作文コンテスト）で夏休みの課題として提出された二人の作文がそれぞれ国語科部会長賞と教育長賞という素晴らしい賞をいただいたので、紹介いたします。私も二つの作文を読ませていただきましたが、どちらも身近な人権問題を自分事としてとらえ、向き合い、周囲に発信する姿勢には大変感心しました。私自身もこれらの作文から人権について改めて考えさせられたと同時に、このような作文を書いた生徒が本校に在籍していることを大変うれしく思いました。次のとおり、特に印象に残った作文の一部をそれぞれ紹介いたします。

「犯罪被害者の守られるべき権利」

現在、パソコンやスマートフォンなどの端末の進化やSNSの普及などによって、誰でも簡単に情報を入手・発信できる世の中である。情報を発信するとき、受け取るときに自分の立場やそれを見た人のことを考えた上でその情報が正しいのか、必要か必要でないかを判断し、上手く活用していきたいと思う。

「子どもの虐待について思うこと」

子どもは生まれた時から基本的人権があるということを忘れてはいけない。また、そのことを心に深くとめてほしいです。日本やそのほかの国においても、その権利が「当たり前」に守られる。そんな国、そんな世界であってほしいです。そして、私たち一人ひとりも勇気や気遣いを持つことで亡くならなくてもいい命が守られるかもしれません。私はこれ以上悲しいニュースを聞きたくありません。

★卒業式を前に花壇ボランティアの方々がボランティア部の生徒と共に花壇やプランターを春色に染めてくれました。

